

今回は、延岡市で開催した「宮崎ひなた集落研修交流会」の様子や、「ひなたまちづくり応援シート」をきっかけに地域の将来について考える取組について紹介します。

「宮崎ひなた集落研修交流会」を開催しました！



令和6年1月28日（日）@野口遵記念館

テーマ『地域の魅力を共有する集い』

ひなた集落研修交流会とは？

集落間の交流と住民主体の意欲的な集落活動を促進することを目的として、集落の維持・活性化の取組について学んだり、参加者同士で意見交換を行う集いです。

基調講演

『地方創生とこれからの地域づくり』をテーマとして、宮崎大学地域資源創成学部の根岸教授に県内外の地域での取組事例などをご講演いただきました。

①高知県梼原町四万川地区の取組

地区内唯一の給油所が閉鎖したことを受け、地域住民が出資をして会社を立ち上げ、給油所を運営しています。現在は、給油所としての役割だけではなく、地域産品や農業用資材を販売する「しまがわ市場」を併設し、より一層、住民の暮らしを支えています。

②美郷町の取組

美郷町では、町内24の行政区ごとに、住民自らが定住促進のための取組を定め、実践する「ちくせん（※）」を実施しており、住民が地域の課題を「自分事化」し、解決に向けた話合いから実行まで行う取組となっています。美郷町のホームページからそれぞれの地区のPR動画を視聴することができます。

（※）「美郷町地区別定住戦略事業」の略



③県内外の取組事例の紹介のほか、藤山浩様（一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長）の著書『田園回帰1%戦略～地元の人と仕事を取り戻す』について、詳しく解説いただきました。



宮崎大学 地域資源創成学部 根岸教授

事例発表・研究発表

◎基調講演後は、各地域の事例発表等を行いました。

- ① 高千穂町大平地区：ウォーキングイベント・PR看板づくり、棚田キャンプなどについて
 - ② 延岡市島野浦地区：シマ資源を活用したツーリズム活動、満月食堂などについて
 - ③ 都城市庄内地区：市民協働型コミュニティバス「庄内ふれあい号」について
 - ④ 西米良村小川地区：小川作小屋村運営協議会とおがわ作小屋村について
 - ⑤ 日南市酒谷地区：道の駅酒谷、棚田オーナー制度、各部会の取組などについて
 - ⑥ 宮崎県立飯野高校（研究発表）：グローバルプロジェクトについて
- この中から③都城市庄内地区の発表内容についてご紹介します。



庄内地区の発表内容

庄内地区には、庄内地区まちづくり協議会が運営するコミュニティバス「庄内ふれあい号」が走っています。今でこそ、庄内地区の公共交通網の人口カバー率（※）は92.1%と高い割合となっていますが、以前は、46.5%と市内で最下位となっていました。

このことに危機感をもった庄内地区まちづくり協議会は、民生委員や自治公民館長など、地域の方と協力しながら、先進地視察や路線計画作成のための高齢者世帯の可視化（地図上に落とし込む作業）などを行いました。バス・タクシー団体との協議も調い、平成28年11月に「庄内ふれあい号」は走り出しました。

令和4年度の実績は、運行日数193日に対し、利用人数は3,611人（平均18.7人／日）となっています。

（※）バス停から300m以内、鉄道駅から1km以内がカバーされている率。

事例発表者からは「まずは、できることから自分たち（地域）でやってみることが大事」とのお話があり、皆さんの地域を良くしたいという熱量を感じる発表でした。



高千穂町 大平地区公民館長
甲斐 様



延岡ふるさとツーリズム協議会
副会長 結城 様



庄内地区まちづくり協議会
事務局長 朝倉 様



小川作小屋村運営協議会
会長 上米良 様

意見交換会

基調講演・事例発表者に登壇していただき、会場参加型の意見交換会を実施しました（日南市酒谷地区はオンラインで参加）。地域内で日用品等の移動販売をされている方からの話もあり、終了予定時間を過ぎてしまうほど盛り上がった意見交換会となりました。

最後までご参加いただきありがとうございました。



宮崎県立飯野高校
上原 様、梅北 様



酒谷むらおこし推進協議会
顧問 日高 様

参加者の声

個人の感想です

- ・地域、地元に還元できる内容でした。
- ・実践的な内容、情報を得ることができました。
- ・意見交換会での皆さんの話が興味深く、あと1時間ほどあればよかったです。
- ・宮崎のことを知れる良い会だったと思います。この機会に、宮崎についてもう一度深く考えてみようと思います。

◎開催時期や場所等は未定ですが、来年度も開催予定ですので、奮ってご参加ください！

※開催時期等が決定しましたら県ホームページに掲載します。

「地域の将来についての話し合い」を始めませんか？ ～ひなたまちづくり応援シートの活用～

ひなた
まちづくり
応援シート
とは？

①基本分析・将来推計機能

地域人口の構造、将来人口推計などを
“見える化”する機能



②移住受入シュミレーション機能

地域に移住者を受け入れた場合の地域の将来
人口推計の変化を“見える化”する機能



③地域分析機能

地域の課題解決や活性化のヒントとなる地域の「強み」や「特徴」を“見える化”する機能



ひなた
まちづくり
応援シートの
使い方

ダウンロード！

①「ひなたまちづくり応援シート」を入手

インターネットで「応援シート」や手引きをダウンロードして入手しましょう

②「応援シート」を使って、地域で話し合い（ワークショップ）

年齢性別問わず地域住民みんなで集まって、地域の将来の姿や課題等を認識・共有しましょう

③ワークショップで出た意見を元に、地域の将来を守る行動計画を策定



話し合い（ワークショップ）の様子

10年後の人口...
こんなに減るの...？

今やるべきことは？
自分たちでできることは？
行政の力が必要なことは？

地元で将来も
守りたい
ものは
何だろう。

目標ができた。
まずは〇〇か
ら始めよう！

椎葉村小崎地区

三股町梶山小学校区

門川町三ヶ瀬地区

話し合いをしてみたい！という地域がございましたら、まずはお住まいの市町村へご相談ください。

「住み慣れた地域に安心して暮らし続けるために」話し合いを行いました！

「この地域で暮らし続けたい」を叶えるため、3ページでご紹介した「ひなたまちづくり応援シート」を活用して、地域の課題や取組について話し合いを行った2地区の様子をご紹介します。

木城町石河内地区

木城町石河内地区では、石河内自治公民館が中心となって全4回のワークショップを開催しました。住民全体で協力して考えていく必要があること(課題)について意見を出し合い、最優先で検討を進めるべきテーマとして、「農地の有効活用や獣害対策」が選ばれ、県鳥獣被害対策支援センターによる講習会なども行いました。今後も公民館を中心に話し合いを継続し、具体的な対策を検討していくことにしています。



都城市中郷地区

都城市中郷地区では、中郷地区まちづくり協議会が住民主導のコミュニティバスの運行(自家用有償旅客運送)に向けて、全5回のワークショップを開催しました。地区住民の移動ニーズについてのアンケート調査などを基に、運行エリアやルートなど、運行に当たって検討が必要な項目について、市の交通政策部署の意見なども踏まえながら話し合いを行いました。今後ともまちづくり協議会を中心に話し合いを継続し、運行計画や運行者等について検討していくことにしています。



開催地区募集中

未来のために私たちは何ができるのだろう。
田舎の不便さや課題もたくさんあるけれど、
みんなが安心して暮らせる地域でありつづけたい！
まちづくりのアイデアや将来への不安など、一緒に語り合いましょう！

ひなた集楽だより は、住民みんなが **集** まって **楽** しみながら行っている活動を、読者が住む集落や地域で活動をする「たより」(きっかけ、てがかり) にしてほしいという願いを込めています。

【発行・お問い合わせ】

宮崎県総合政策部

中山間・地域政策課

電話 0985-26-7036

FAX 0985-26-7353

